

# 謹賀新年



小須戸町長 佐藤 太加志

新年おめでとございます。  
年頭にあたり、町民の皆様にご挨拶を申し上げます。

まず私事で恐縮ですが、昨年2月から再度町政を担当させて頂きました事に対して、改めて厚く御礼申し上げます。

お陰様をもちまして、早くも1ヶ年が経過しようとしておりますが、懸案の諸事業・諸政策が継続して実行され、着実に進展しておりますことは誠にありがたく、重ねて感謝申し上げます。

次第です。

世情は相も変わらず不安定感が強く、日本国はまさに国際的国内的に大きく揺れ動いており政治、経済の一刻も早い安定を強く望むものであります。

また、昨年初頭に生じた阪神淡路に於ける地震災害の傷跡もいまだ生々しく、早期の復旧を願う心も痛み通しであります。

そして7、8月の大集中豪雨では、本県上越地方の被害状況や当町に於ける災害等、まだまだ

防災対策に不備のあることを痛感させられた次第であります。

この事を糧として、当町では早速排水路の整備や、新たな観点から排水路計画を進めておるところですが、一刻も早い事業化に向けて努力しているところであります。

さて年頭でありますので、少し町の主たる事業や、状況について報告を兼ね乍ら述べさせて頂きます。

まず、福祉ゾーン計画の核となるデイサービスセンター及び在宅介護支援センターが、昨年4月から業務を開始し、多数の方々から利用して頂いているところでありますが、先般、敷地内の緑化整備も完了し、安らぎと潤いのある装いとなりましたので、町民の皆様の憩いの場としてご利用頂きたいと思っております。また、その敷地内にはシルバーハウジング（高齢者集合住宅）の建設計画も策定され、高齢者用11室、一般用6室の3階建てのモダンな町営住宅ができることになりました。この建物は平成9年には完成の予定であり、これにより福祉ゾーンの形態が

整うこととなります。

次にこすど温泉健康センター「花の湯館」も4月15日オープン以来、大変なご好評を頂き、12月末には9万人もの御利用があり誠に喜ばしい限りであります。また、まだまだ皆様から多くのご要望を頂いておりますのであります。その中で駐車場の拡張整備を先般完了いたしました。ただ今は休憩場の増設拡張を設計中でありますので、町民皆様のご理解を頂き乍ら早期に完成したいと思っております。

道路については、まず町道小須戸17号線が平成2年の計画決定より6年の歳月を要しましたが、12月12日に開通することができました。また、3月中には歩道も完成する予定であり、この事業が予定よりも一年早く完了出来ますことは、地権者の皆様はじめ関係各機関の多大なるご協力によるものであり、改めて感謝申し上げます。

一方、国道403号線バイパスにつきましては、県道から田上地内の計画も出来ましたので、いよいよ事業化に向かうこととなりますが、国・県のご理解を

頂き乍ら、早期完成に努めてまいります。

また、農村総合整備モデル事業も下奥野地内の道路舗装も昨年完了し、ただ今県道新潟小須戸三条線に接続する坂道の建設工事中でありまして、これも3月中には完成の見込みであります。これでモデル事業は予定通り全部完了することになります。また、水田地区の皆さんから長年ご要請頂いております浄水場上手の坂道の改良も3月中に完成いたします。

排水路を歩道に整備しているふれあいロード（仮称）についてはこれも3月中に完了いたしますが、皆さんから親しまれる愛称をつけて頂きたいと思っております。

以上、継続的な事業について述べましたが、新たな事業といましては昨年少し触れましたが、小須戸橋上流の河川敷公園も国・県のご理解を頂き、事業費が確定いたしました。平成7・8・9年度の3ヶ年事業として施工してまいります。これが完成いたしますと、公式サッカー場、少年用サッカー場にゲート

ボール4面、ボートやカヌーの係留場、スケートボードやローラースケート等が出来る多目的施設、バーベ

キュー等が出来るピクニック広場、花や虫と親しまれるバッタの原っぱ、花と緑の多い多様な施設となり、電気と水道の設備を施し、イベント等も出来るように計画しております。

次に、町活性化対策として行いました矢代田駅西側宅地開発の成功に伴い、この度2次開発計画が企業サイドの強い要望で計画されてまいりました。このこと

について、ただ今その実現に向けて鋭意努力中でありませんが、町といたしましては将来の

展望に立ち、この事業が達成出来るよう極力協力し、努力しているところでありますので、関係皆様方の多大なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

ここまでは、主に皆様の目につき易い比較的関心のあるようなハード的な物を述べてきましたが、その他まだ申し上げたい件もありますが、紙面の都合上省略させて頂きます。

そして、これらの諸々の事業には必ず財源の裏付けが必要でありますので、その計画と執行にあたっては緻密さと正確さが絶対条件であります。行政執行にあたりましては、それらを十分勘案の上、町の持てる財政力を最大限に活用し、町民皆様のご意見・ご要望にお応えしながら、健全財政の運営を行ってまいりる所存でありますので特段のご指導とご協力をお願い申し上げます。

次に明るい話題としてスポーツ面に於ける大成果を申し述べておきたいと思っております。

一昨年は小須戸中学校で剣道柔道、体操で多くの選手が全国

大会に出場いたしました。昨年も県代表として北信越大会に出場。剣道スポーツ少年団が広島県で行われた全国大会に。また小学生バドミントンが北信越大会に出場し、うち1人が金沢市で行われた全国大会に出場するなど小中学生の活躍も目立ちました。

一方、当町の伝統的スポーツとして県下に名声を誇っている剣道大会では約1500名、そして柔道大会では県外から参加も得て1200名もの多勢の選手役員が町民体育館に参集してくれました。また野球では小須戸クラブが4度目の県大会に優勝するなど、華々しい活躍をしてくれました。先般、その他の各種スポーツ選手を含め多くの皆さんがスポーツ功勞の表彰を受けられました。選手並びに各指導者のご努力に深甚なる敬意と感謝の意を表するものであります。

スポーツは「規則を守り、礼儀を重んじ、努力をする」ことが基本であります。そのことにより正しい人間形成につながるものと信ずるものであります。

指導者の方々をはじめ、関係者の皆様の一層のご尽力をお願い申し上げます。

「明るく生き生きとした活力のある町づくり」は、町民の皆さんと行政とが力をあわせて一歩一歩作り上げていかなければなりませんし、そして自然に恵まれたこの環境に心の優しさをさらに加え、「細やかな福祉のある町づくり」を念願として、21世紀に向けた明るい郷土づくりが進みますことを、皆様とともに願いたいと思っております。

今日、現在は経済・農業にとつて極めて厳しい状況にありますが、関係皆様におかれましては明日への希望をしっかりと持ち頂き、一層のご努力くださるよう切望いたします。

私も皆様から与えられた責務を念頭におき、精一杯の努力を重ねて参る所存でありますので、本年も何かとご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、町民皆様のご健勝、ご多幸、ご繁栄をご祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。

